Classic Mk3 Series

ADAM PROFESSIONAL AUDIO

Adam――理論と感性によって生まれた至福の音質

アダムは独特のテクノロジーと優れた感性、妥協のない執念とクラフツマンシップが完成させた、ドイツの誇るべきスピーカーメーカーです。

アダムは1999年にプロフェッショナルスピーカーメーカーとして誕生しました。そのプロ機は、エミネム、ポールマッカートニー、ザルツブルグ・モーツァルテウム芸術大学など、多くのアーティストや音楽機関から高く好ましい評価を受けてきました。そして2004年には、帯域をミッドレンジにまで拡げたエックスアートドライバーを開発し、ヨーロッパ全域で賛美されるに至るのです。

アダムの創業者は物理学者であり、ファツィオリのピアノを自宅で演奏するほどの音楽愛好家、クラウス・ハインツです。彼の父は、電子顕微鏡の発明により、1986年にノーベル物理学賞を受賞したことでも知られる、工学博士エルンスト・ルスカ博士です。ハインツは、この父親とミュンヘン大学の同窓であったハイル博士によるAMTドライバー原理に共感し、議論を重ねた末、最新技術を駆使して改良型を完成させました。アダムは、あらゆる条件の下で最高度の音楽性を発揮するスピーカーの制作を目指すその姿勢と、それを実現する技術力で、高い評価を得ています。スピーカーメーカーは世界に数多くあります。ドライバーを箱にマウントし、電流を流すだけで音がでます。しかし、本当に心を動かす音を奏でるスピーカーはほんの一握りです。

アダムの中核を担うX-ARTドライバー

ART（アクシリレィテッド・リボン・テクノロジー）と呼ばれるこのトゥイーターを搭載したプロ機の成功を糧に、2004年、ヴァリューラインの中核をなすコンシューマー機、クラッシックシリーズを発表しました。すべて、X-ART（エクステンデットART）トゥイーターを装備し、優れたダイナミックレンジと音楽性を備えています。

ピストンモーションによる一般的ドライバーでは、ダイアフラムの震動によって動かされる空気は振動板の動きと比べて1対1です。ドライブメカニズムよりも空気の質量が軽いのです。結果、空気はトランスデューサーと効率よく結合できません。この現象は、たとえるならば、オーディオ機器の送り手（例えば、プリアンプ）と受取り手（パワーアンプ）とのインピーダンスマッチがとれていない、ということによく似ています。つまり、どちらの場合も、最適なパワーを伝えきれていないのです。そのため、スピーカーの場合、効率が通常2%ほど犠牲になります。一方ART振動板は送られてくるオーディオ信号によって、プリーツが押されたり拡張したりします。空気はバンドネオンのように引き込まれたり、ぎゅっと押し出されたりします。X-ARTドライバーの振動板はとても軽くて面積が大きく、そこからストレスなく押し出される空気のスピードはドーム型に比べて4倍も速いのです。このエンジンを受け持つのは、強力なネオジウムマグネットです。これは例えば、私たちが呼吸するとき、胸郭の動きはゆっくりとしているものの、押し出されたり吸い込まれたりする空気の速さは胸郭の動きに比べて速いという事実とよく似ています。

この非常に優れた「モーター」によって、今まで経験したことのないほどのクリアーな音や優れた過渡特性が再現されます。劇的に優れ、自然で琴線に触れる音楽再生が、原音に忠実な音質によって構築されるのです。

X-ARTトゥイーターはドーム型では避けられない超高域のひずみや、ブレークアップポイントがありません。またリボンが直接外気に接するため、瞬時に冷却されます。その結果、ドーム型と比べて歪みは非常に少なく、インピーダンスも一定しています。トゥイーターは音圧で5dB、能率で3dBも高く、しかも高域は50kHzまで伸びています。ミッドレンジドライバーでも、それぞれ3dB 、2dBも効率が良くなっています。X-ARTドライバーの音質は、プロを始めとする世界中の使用者から「きわめて自然であり、かつストレスのない音質だ」、と高く評価されています。

ハイスピード　ヘクサコーンウーファー

ウーファーにはノメックス　ハニカム構造の中心材を表、裏からケブラー繊維で挟んだ構造で、歪みやたわみの無いヘクサコーンドライバーを使用しています。このコーンはアルミコーン、ペーパーコーンに比べても剛性が極めて高く、コーンのブレークアップ共振モードが抑えられています。ボイスコイルとコーン表面積をマグネットと最適にバランスさせ、低域の音楽性を大切にしに、キャビネット、中高域ドライバーとのスムーズなつながりを得ております。このウーファーはハイスピードでブレーキング性能に優れ、極めて高い音楽再現能力を備えています。目を閉じれば、そこに音楽情景が浮かんでくる、というオーディオ再生の理想に大きく近づいたパフォーマンスです。

徹底した品質管理

アダムスピーカーのモデルは、X-ARTドライバーを含めて、ベルリン市内の工場ですべて設計、製造されています。これは設計概念のスタートから最終製品までが極めて高度なドイツ伝統の品質管理の下に行われているということの証明です。「設計から出荷まで」という、この一貫した姿勢が、アダム品質を保証します。事実ヨーロッパでは、アダムといえば高品質、高音質、高いクラフツマンシップの代名詞となっているほどです。

品質と測定プロセスの精度は、アダムの全ての製品に必要不可欠な要素です。例えば、ART、X-ARTドライバーの一つひとつまでもが、多くの過程を経て、検査されています。電子音響的要素を考慮した重要な出荷時検査は、インピーダンス特性、絶対的周波数帯域、能率レベル、リファレンス機との比較特性、位相特性、インパルス反応、絶対位相、そして変調歪みなどの徹底的な検査を行います。

全ては聴く人のために

優れた理論と人間の聴感によって設計、製造されたアダムスピーカーは、価格からみても非常に価値あるスピーカーとなりました。
アンプを選ばない汎用性、周辺機器をアップグレードする毎に、その能力を伝える柔軟性。
管楽器、弦楽器、打楽器など、全ての楽器の質感を大切にしつつ、その姿を目の前に浮かび上がらせます。
楽器が織りなす音のテクスタイル、聴く人の心に訴える音楽を奏でるスピーカーとしてのすばらしく高い能力。
由緒正しい血統から生まれたアダムは、皆様の心を潤すスピーカーとなることでしょう。

コラム Mk3

クラシックシリーズの旗艦モデルは、X-ARTドライバーをミッドレンジ(800-2.8kHz)にも使用しています。
音楽において非常に大切な中高域を異なるX-ARTドライバーが受け持つので、その優位性を全て体感できる音質です。又、2本のヘクサコーンスピーカーを使用、3.1ウェイ構造で150Hz以下を低域専用ドライバーに受け持たせています。ごく自然で正確な音色表現は、ハイエンドスピーカーでも突出した存在です。

周波数特性	33Hz - 50kHz
能率(dB/W/m)	90dB以上
ウーファー	2 × 19cm
コーン材質	ヘクサコーン
X-ARTミッドレンジ	1
振動板重量	0.7g
X-ARTトゥイーター	1
振動板重量	0.17g
インピーダンス(ノミナル)	4Ω
重量	32kg
外形寸法(WHD)mm	230×1205×230

ペンシル Mk3

X-ARTトゥイーターを装備した、完成度の高いモデルです。細身の容姿からは想像できないリアリティーに富んだ、品位の高い再生にリスナーは圧倒されることでしょう。2.1ウェイ構造というユニークなネットワークは一本のウーファーをフルレンジドライバーのように使用し、150Hz以下を低域専用のドライバーに受け持たせ、パワフルで豊かな音場を創り上げます。

周波数特性	35Hz - 50kHz
能率(dB/W/m)	89dB以上
ウーファー	2 × 19cm
コーン材質	ヘクサコーン
X-ARTミッドレンジ	-
振動板重量	-
X-ARTトゥイーター	1
振動板重量	0.17g
インピーダンス(ノミナル)	4Ω
重量	23kg
外形寸法(WHD)mm	230×1180×300

コンパクト Mk3

名前の通りサイズは小さいのですが、音質は大型スピーカーにも負けません。見透しの良さ、音色の精度が際だっており、サイズにかかわらずに姉妹機と同じ言語を話します。2.5kHzから50kHzまでをX-ARTトゥイーターが受け持ち、ヘクサコーンウーファとの絶妙なコンビネーションの2ウェイシステムは品位の高い音楽を優れた表現力で再生します。

周波数特性	38Hz - 50kHz
能率(dB/W/m)	87dB以上
ウーファー	2 × 19cm
コーン材質	ヘクサコーン
X-ARTミッドレンジ	-
振動板重量	-
X-ARTトゥイーター	1
振動板重量	0.17g
インピーダンス(ノミナル)	4Ω
重量	11kg
外形寸法(WHD)mm	230×440×290

株式会社 太陽インターナショナル
〒103-0027 東京都中央区日本橋 2-12-9 日本橋グレイス1F
Tel: 03-6225-2777 Fax: 03-6225-2778
Website URL: http://www.taiyo-international.com